

## 1. 実施時期 2019年9月11日（水）～9月14日（土）

9月11日（水）	<b>14:00</b> ～	ヘルス・サイエンス大学にて打合せ（①）
	<b>16:00</b> ～	<b>Mahosot Hospital</b> 視察
9月12日（木）	<b>07:40</b> ～	ビエンチャンを出発、ビエンチャン県へ移動
	<b>10:00</b> ～	ビエンチャン県保健局訪問 <b>Dr. Viangmany</b> 副局長と懇談
	<b>11:00</b> ～	ビエンチャン県看護学校の視察(②)
	<b>14:30</b> ～	<b>KeoKou</b> ヘルスセンターにて看護師に対して 口腔保健指導(③)
	<b>17:30</b> ～	ビエンチャン県を出発、ビエンチャンへ移動
9月13日（金）	<b>09:00</b> ～	ヘルス・サイエンス大学 看護師教育施設の講義室 ヘルス・サイエンス大学職員に対する講義（④） （高山医師による法歯学：個人識別の講演）
	<b>11:00</b> ～	看護師教育施設内 の視察（⑤） ファントム設置についての打合せ
	<b>16:00</b> ～	タットルアン経済特区にて鈴木基義先生の事務所訪問（⑥）
9月14日（土）	<b>10:00</b> ～	日本へ帰国

## 2. 参加者

高山派遣専門家、久家派遣専門家、須貝歯科衛生士（明法会職員）  
大高衛生士（明 法会職員）、竹内歯科衛生士（Ci メディカル職員）  
社会福祉法人福翠会石丸翠理事長、同 福翠会石丸智英理事  
森光太郎君（中央大学在籍）

## 3. 実施場所

- 1) ルス・サイエンス大学・歯学部（ビエンチャン） 教育センター（トレーニングセンター）
- 2) ビエンチャン県看護学校
- 3) **KeoKou** ヘルスセンターにて口腔保健活動

## 4. 実施内容

- 1) 看護師における歯科口腔保健教育カリキュラム検討会

① 歯科口腔保健を技術移転のためのカリキュラムについて  
(**Dr. Bounnhong** 学部長、**Dr. Vorasack** より)

ア) 1日講義（4限）実施後、集中力が続くのか。

イ) 参加をしたい、学びたいと思える仕掛けづくりが必要である。

ウ) 母子保健についてカリキュラムについて

作成されたカリキュラムに母子保健が組み込まれていなかった為、追記提案を行う。  
胎児時期から母親に対して口腔保健指導することで、母子伝播、小児の口腔保健改善のみならず、両親自身の口腔環境改善も重要である事を認識してもらう。



カリキュラム会議①



カリキュラム会議②

## 2) ビエンチャン県看護学校の視察

在籍学生数：285名、職員：28人、教員：19人、外部講師：32人

### ②OISDE：フェーズ1活動成果によるビエンチャン県での看護師学生の口腔衛生活動報告 (Dr. Kantary 校長より)

2011年から数年間、OISDEが実施したビエンチャン県看護学校での口腔衛生教育が現在も根付いており、看護師学校教育のカリキュラムに取り入れられている。

- ア) 2011年より年に1回、看護師学生が小学校で口腔衛生活動を継続的に実施している。
- イ) 今後の口腔衛生啓蒙活動に必要な資材などの援助要請について要望あり。



看護学校職員と OISDE 団員



看護学校職員による口腔衛生活動報告①



看護学校職員による口腔衛生活動報告②



看護学校の歯科器材視察

### 3) KeoKou ヘルスセンターにて口腔保健活動

③職員の看護師に須貝歯科衛生士、大高衛生士がスライドで歯ブラシなど口腔衛生器具の種類使用方法と歯石除去の器具の種類使用方法を説明しながら実習を行った。現地職員に今後地域住民に啓蒙するためにスライドをパウチしたカラー印刷し手渡した。



DH.須貝による口腔衛生指導講義



DH.大高フロッシング指導風景①



フロッシング風景②

### 4) ヘルス・サイエンス大学：看護師教育施設（トレーニングセンター）にて講義、

④高山医師が法歯学の中でも歯科による個人識別の講演を行った。

⑤看護師教育施設内の視察

竹内衛生士が日本から持参したファントム実習器具の設置方法を **Dr. Bounnhong** 学部長、持田駐在員と施設設計士に説明した。



トレーニングセンター完成



Dr.高山による法医学講義①



Dr.高山による法医学講義②



大学教員より法医学について質問



Ci メディカル、DH 竹内氏による  
ファントム設置方法説明①



Ci メディカル、DH 竹内氏による  
ファントム設置方法説明②

## 5) タットルアン経済特区：鈴木基義先生の事務所訪問

⑥ラオスでの日本語学校の現状や日本の入管法改正によって今後、日本の高齢者施設での口腔ケアも担う介護職としてラオス人労働者の受け入れの見通しの説明を受けた。

## 5. 提案事項

### ①歯科口腔保健を技術移転のためのカリキュラムについて

ア) 1日講義(4限)実施後、集中力が続くのか。

- ・各講義前に到達目標(こうなって欲しい)を明示する
- ・小テスト(資料を見ながら答えを自ら導く)→講義→小テスト
- ・到達目標を確認し、小テストで出来たという達成感を感じてもら
- ・動画を活用する(作業効率向上)。

→ プロービング、スケーリング、エキスポローラー、ブラッシング、フロッシング等  
各カリキュラムで再生可能

イ) 参加をしたい、学びたいと思える仕掛けづくり

- ・ 各県看護師、選出方法  
→ビエンチャンの研修に参加するにあたって”選出された”という特別感を持たせて参加させる事で研修に取り組む姿勢は変わってくるのではないかと。
- ・ 認定書、研修修了書発行
- ・ 研修後、最優秀学生表彰

ウ) 母子保健についてカリキュラムについて

- ・ 作成されたカリキュラムに母子保健追記提案を行う。
- ・ 母子手帳にも歯科を追加してもらう

エ) 欠席・遅刻について

- ・ 研修に参加する条件として、全日程参加出来る事を事前に約束しておく。
- ・ 欠席、遅刻した場合は、補習を受ける、レポート提出等を要検討

オ) 臨地・臨床実習（実践の機会を作る）について

- ・ 小学校実習、各歯科医院 **or** 歯科大学病院での **1** 日実習を実施してはどうか。

カ) 認定試験、評価について

- ・ 歯科口腔保健研修の認定試験（知識・実技テスト）  
（例） **100** 点満点で各科目より **10** 点出題してもらう  
実技テスト：ルーブリック評価

キ) 成功事例の水平展開について

- ・ 研修内でビエンチャン県看護学校の校長より、成功事例の報告を行ってもらい将来像のイメージを持ってもらう

ク) その他

- ・ 実技指導の際に、手元をプロジェクターに映し出せるビデオカメラ、もしくは携帯接続で投影できるケーブルを準備しておくといよい。看護師 **40** 人が、指導者の手元を確認できる。

以上